

平成29年度 学校評価結果報告書（高等学校用）

(1) 学校教育目標	日進月歩の工業技術と変動する社会情勢に対応でき、且つ創造力豊かで知・徳・体の調和のとれた人間を育てる。
(2) 現状と課題	挨拶や容儀面などの基本的生活習慣は優良である。工業の専門分野の技術・技能の習得は勿論であるが、その基礎基本となる教科の学力の定着を図り、資格取得を更に奨励し学習環境を整備することが重要課題である。また、全校一体となった教育活動を実施するために全教職員が共通した意識を持ち、効果的な情報発信を研究することにも重要課題と認識し取り組んでいる。
(3) 重点目標	<ol style="list-style-type: none"> 1 当たり前のことが当たり前に見える人づくり 2 高度な技術・技能を身につけた人づくり 3 正しい勤労観・職業観を身につけた人づくり 4 地域に信頼され、地域の子供たちに魅力ある学校づくり 5 確かな学力を育成する授業づくり
(4) 結果の公表	学校ホームページで公表する。

学校整理番号	48
学校名	青森県立五所川原工業高等学校
全日制課程	本校・校舎・分校

自己評価実施日	平成29年12月21日(木)
学校関係者評価実施日	平成30年2月6日(火)

(9)ーイ 学校関係者評価委員の構成	
学校評議員	4名
P T A 会長	1名
P T A 学年部会長	3名
計8名	

自己評価				学校関係者評価		
番号	(5) 評価項目	(6) 具体的方策	(7) 具体的方策による目標の達成状況	(8) 目標の達成度	(9) ア 学校関係者からの意見・要望・評価等	(10) 次年度への課題と改善策
1	当たり前のことが当たり前に見える人づくり	「正しい容儀・挨拶・言葉遣い」のできる基本的生活習慣を身に付けさせる。そのために、全校一体一家庭の精神を体現し、全教職員が一致協力して指導にあたる。また、日々の部活動を通して心身を鍛え、自律心や礼儀、責任感や協調性といった社会人として必要な態度の育成を図るとともに、ボランティア活動を通して、社会とのつながりを大切にし、豊かな心を育成する。	<ul style="list-style-type: none"> ・挨拶の励行や時間・期限が厳守されており、容儀面においても良好である。 ・分掌、学年、学科との連携により、組織的に対応できるようにしている。また、心身に問題を抱えている生徒を早期に発見し、対象生徒のスクールカウンセリング、相談活動による対応ができています。 ・部活動を通じて生徒個々の心身の成長が見られた。 ・今年度も全校ボランティア活動を実施し、地域住民ならびに訪問先施設より感謝を頂いた。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・服装・頭髪がしっかりしており、挨拶や礼儀等のマナーについては、保護者からの評価も高い。また、来校時には、先生方の挨拶もとても好感が持てる。 ・コミュニケーション能力は仕事をすすめるうえで大切なので今後も指導をお願いします。 	<ul style="list-style-type: none"> ・全教職員協力のもと、今後も継続して挨拶や容儀についての指導にあたる。 ・心身に問題を抱えた生徒の早期発見及び対応のため、今後も各分掌との連携及び情報交換を密にしていける。 ・いじめ防止対策委員会などを通してきめ細かな事前防止や対策に教職員全員で努めていく。
2	高度な技術・技能の推進	工業における基礎技術・技能をしっかり習得させ、それぞれに必要な資格取得を計画的に支援し、また、生徒の創造力をはたらかせ、ロボットコンテストやものづくりコンテスト等にも積極的にチャレンジさせる。そのために、ポリテクカレッジや企業との連携を図り、高度な実習を行う。	<ul style="list-style-type: none"> ・資格取得、検定合格状況は良好であった。ジュニアマイスター顕彰を10名受賞した。第二種電気工事士取得率94%、第一種電気工事士取得率94%の成果を上げている。 ・ものづくりコンテスト「電子回路組立部門」で優勝し、7月には東北大会に出場する。 ・課題研究の成果を発表する校内課題研究発表会を保護者や企業の方々を迎えて実施した。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も資格取得やものづくりコンテスト、ロボットコンテスト等への指導をお願いします。 ・素晴らしい結果が出ているにもかかわらず、保護者の評価が低いのが気になる。対策を考えていく必要があるのではないか。 ・学校での取り組み状況をより良い形で情報発信するよう努めてください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・来年度も資格、検定のための書籍をできるだけ多く購入する。 ・資格取得において、合格率を向上させるために、きめ細かな指導をしていく。 ・ものづくりコンテスト等の模様や成果を、ホームページを通して学校関係者に発信する。
3	キャリア教育の推進	三年間を見通した進路指導計画をたて、職業体験・職場見学等を積極的に活用し、生徒に正しい勤労観・職業観を身に付けさせる。自らの可能性を信じ、自分がどんな人間となり、いかに働き、いかに生きるかを考えさせ、社会にどのよう貢献できるかを探らせる。また、保護者・生徒にスピーディーに進路情報を提供する。	<ul style="list-style-type: none"> ・インターンシップ・進路ガイダンスなどを通して望ましい職業観、勤労観を育成することができた。 ・学年、学科、進路指導部が連携し、進路面談を実施することで、生徒の希望進路を達成することができた。また、学年PTAの際に保護者向けの進路講演会を実施し、情報提供をしている。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・進路達成状況は素晴らしいです。来年度も希望進路の実現に向けて指導をお願いします。 ・地域の一般企業の方との模擬面接は非常に良い取り組みです。今後も継続してください。 	<ul style="list-style-type: none"> ・1年次からキャリア教育の充実や早期の進路希望調査と保護者との面談を実施し、進路に応じた指導を今後も継続して行っていく。 ・家庭、企業、教職員の連携を密にするとともに、教職員の企業訪問や研修の充実にも努める。
4	地域の子供たちに魅力ある学校づくり	学校公開を実施し、中学生や市民に授業・実習を見学してもらうとともに、ホームページや広報誌で学校行事・部活動の結果などの情報発信をする。また、各種ボランティア活動や近隣小学校との交流学習により、本校の教育活動を広報し地域に理解してもらうように努める。	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開を実施し、地域の方々に学校の様子を見学していただいた。 ・近隣小学校との交流学習では、各学科で製作された作品は、子供たちに好評であった。 ・中学生の進路決定の時期を考慮し、11月に学科説明会を実施した。 	A	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も地域との連携を図れるよう、学校公開や小学校との交流学習を継続してください。また、一校だけではなくもっと多くの小学校との交流学習もあってほしいと思う。 ・学年の遠足の計画などもとても良かった。また、ホームページに掲載されており、学校行事の様子が分かった。今後も継続して欲しい。 	<ul style="list-style-type: none"> ・学校公開や小学校との交流学習を継続する。 ・部活動の結果はもちろん、学年の取り組み状況も積極的に発信していく。 ・PTAの研修については時期と内容を検討し、早めに保護者に提示する。
5	確かな学力の育成	授業において、教科科目の基礎基本をしっかり定着させ、実習等で生徒は互いにスキルを高める。「教わる」から「自ら学ぶ」態度を育成し、互いに「学び合う」授業を推進する。そのために、授業の工夫改善、教材研究の深化と教材の精選、組織的指導方法の更なる発展を図る。また、研修の機会を捉え、教員自らのスキルアップを図る。	<ul style="list-style-type: none"> ・自己目標を設定し、専門性の伸長と教職員としての資質の涵養に努めることができた。 ・教員が教材研究の深化、指導方法の工夫のための各種研修へ参加し、スキルアップを図った。 ・遅進者等に対する学習支援や講習、補習等での個別指導は生徒一人ひとりに応じて的確に行われている。 	B	<ul style="list-style-type: none"> ・確かな学力の育成のための校内テスト等の取り組みは、今後も継続してください。 ・生徒が自宅学習に取り組むことができるよう指導をお願いします。 ・アンケートの集計結果が特に低いのが気になる。保護者が自分の子供に厳しすぎるのではないかな。 	<ul style="list-style-type: none"> ・今後も研修によるスキルアップを図るため各種研修案内を継続し、参加を勧める。 ・自学自習の力、資格取得に積極的に取り組む姿勢の育成のために、学習指導委員会が中心となり、学校全体で組織的に取り組む。 ・進路に関して早期に意識付けを図り、学習意欲を高める。
(11) 総括	今年度の結果から、本校の優先課題は、①基礎学力定着のため、授業の工夫改善、教材研究の深化と教材の精選、組織的指導方法の更なる発展を図るとともに、資格取得への積極的な支援を行う。②「開かれた学校づくり」を継続し発展させる。③学校・生徒・保護者・地域との連携・交流を今後も継続する。以上の3点であると総括する。					